

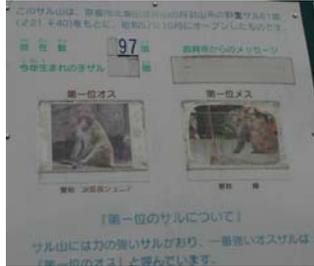
# 動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。朝倉キーパー担当のサル山、必死にエサを探す姿を見せる工夫は、見抜けましたか。エサの展示物と本当に与えられているエサの違いも良い自由研究になります。さて、今日は、サル山のボス「次郎長 Jr」の学習能力です。

いつ来ても、そして何時間でも見て楽しいのが「サル山」です。少年の頃の幅崎も「井ノ頭動物園」のサル山のファンでした。円山のサル山には「展望レストハウス」という強い味方ができ、弁当を持って1日中観察できます。サルに飽きたら他の教科の宿題もできるテーブルもあるので、夏休みの観察には最高です。



サルたちの行動をじっくり時間をかけて観察してみましょう。

はじめは、どのサルも同じに見えますが、だんだんと区別できるようになります。もちろん全頭を区別できるようになるには相当時間がかかります。最初にボス、次郎長 Jr を見つけます。ニホンザルのボスの位置づけは、人間社会のリーダーとは、ちょっと違うようです。



発見しやすいポイントは、「餌の時間」です。なんと彼だけが学習した「賢い食べ方」をするのです。ふつうのサルは、小さな麦の粒を利き手で一つずつ、つまんで口へ運びます。しかし彼だけは、手のひらをぬらして、そこにくっつけて食べます。私たちが、なめた指先に砂糖をつけてなめるという感じです。



この方法だと、ほかのサルより格段に効率よく餌を食べることができそうです。ここで「ニホンザルに挑戦」、テーブルに米粒をこぼして、指先で一粒ずつ集めてみましょう。おちょ一杯集めるのに



どれだけ時間がかかるでしょうか。では、次郎長 Jr の方法でやってみましょう。かなりの速さで集まるはずです。サル山を



見渡してみてもこんな食べ方をするサルは彼だけですのすぐにわかります。彼が食べているそばに、ほかのサルが近づくと、どのような行動をとりますか。また、どのサルにも同じ行動をとりますか。ボスザルを見つけたらその行動を調べてみることも自由研究になりそうです。(霊長目オナガザル科)



## 宿題テキストで質問があったら？

勇気を持って、園のスタッフやガイドボランティアに「質問」してください。最も大切なことは、観察した事実を正確に記録することです。スケッチに加え、デジカメなどを活用してもかまいません。ただ、デジカメはシャッターチャンス逃すこともあるので過信は禁物です。事前学習での質問は「学校の先生」にですよ。

夏休みの宿題は、動物園で調べるものですが、「食べる」「食べられる」動物のからだのしくみや行動が中心です。課題のほかにも発見したことや関心を持ったことは、もちろんレポートにして提出して下さいね。見学にあたっては「学校を通して連絡してもらおう」と校外学習などと同じ対応で見学ができるのでおすすめです。では、また。